

評価時点 [令和8年(2026年)1月]

令和8年度(2026年度)事業分 公共事業事前評価調書

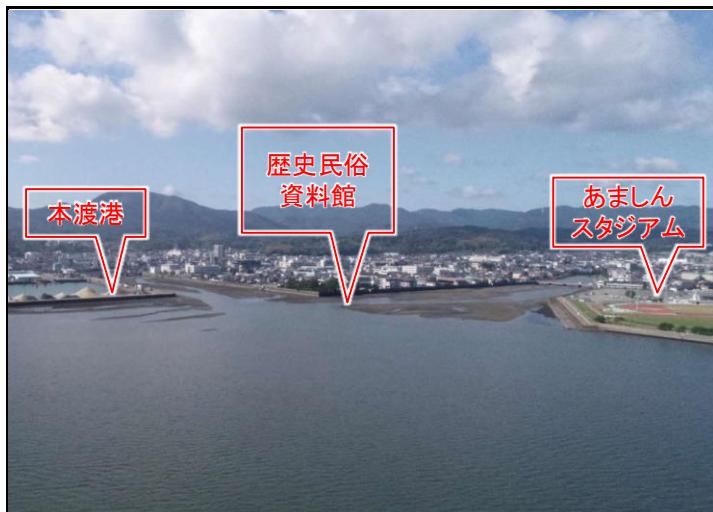
事業プロフィール

評価調書作成者 [港湾課長 田村伸司]

【事業概要】

事業名	本渡港 臨港交通施設整備事業
事業箇所	天草市港町、今釜新町、本渡町
事業担当課(室)	土木部 港湾課 (港湾整備班 内線53848)
事業期間	令和8年度～令和12年度 (5年間)
総事業費	2,000百万円 (うち県費 800百万円)
事業内容	橋梁2基、歩道改良L=400m
事業目的	<p>近年の本渡港は、天草地域の人口や航路の減少、移動手段の変化等により、船舶の利用旅客数や交通拠点としての利用機会が減少している。</p> <p>そのため、天草市では、「本渡港周辺環境整備基本計画」を策定し、本渡港の賑わい創出や、その効果を市内全体に波及させる取組みを実施することとしている。</p> <p>本事業では、本渡港と歴史民俗資料館やあましんスタジアムとをつなぐ歩道及び連絡路(橋梁)を整備し、天草市中心部の回遊性を向上させ、各拠点の賑わい創出、さらには、天草市全体の活性化を図ることを目的とする。</p>

【現況写真】



(本渡港及び文化レクリエーション拠点間のアクセス性)

本渡港周辺には賑わいの拠点となる施設が存在するが、拠点間のアクセスが悪い。

【検討状況】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	—
事業比較 〔事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)〕	事業を行わない場合、「本渡港周辺環境整備基本計画」に基づくその他の取組みにより創出される本渡港の賑わいが、限定的なものとなり、その効果を天草市全域に波及させることができない。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	段差のない歩行空間や、視認性の高い自転車歩行者の案内表示の整備を行う。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	港湾法に基づく港湾区域に指定済み。 港湾法に基づく港湾計画に位置付け済み。

【周辺状況】

関連事業	天草市本渡港周辺環境整備
市町村、地元の状況	・天草市が策定した「本渡港周辺環境整備基本計画」(R6.4)に位置付けられている。 ・天草市から、整備の要望あり。
説明会の開催状況と関係者の意向	・事業着手後に地元説明会を開催予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・渓谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

: 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村の位置付け	5	5
	小計	10	10
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④周辺環境の状況	10	10
	⑤良好な港湾環境の形成	20	16
	⑥海域環境の創造	20	8
	⑦地域の特色、個性	10	10
	⑧現在及び事業実施後に想定される利用形態	15	15
	小計	80	63
効率性	⑨ 費用便益比(B/C)	10	0
	小計	10	0
合計		100	73